

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	環境衛生一般事務	会計名称	一般会計		担当課	環境保全課		
		予算科目	4 款 1 項 5 目	事業番号	2190	所属長名	佐々木 正孝	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	窪田 春樹		
法令根拠等	環境教育等による環境保全の取り組みの促進に関する法律・地球温暖化対策の推進に関する法律・エネルギー使用の合理化等に関する法律				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成	年度(予定)
	循環型社会構築に向けた環境づくり						☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	豊かな自然に恵まれた本市において、地球にやさしい活動に取り組むことが、循環型社会の構築に寄与する。							
事業の対象	市民		事業の目的	環境衛生関連事業に係る個別事務事業以外の業務の執行				
事業の内容（整備内容）	環境教育の推進、地球温暖化対策実行計画の進捗管理、中山地区公衆便所の維持管理		評価事業としないこととした理由	個別事務事業として、主要な施策の成果が見込めないため、評価対象外事業にすべきと判断。				

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27 年度実績	28 年度予定	9月末の実績	28 年度実績
財源内訳	直接事業費	3,702	3,133	0	0	0	1,713	環境学習会	回	2	5	1	4
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	0	0	0	0	0	0	温対法・省エネ法・温対法 定期報告書作成	回	1	1	1	1
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
一般財源	3,702	3,133	0	0	0	1,713	公衆便所の汲み取り	回	4	4	1	3	
職員の人工（にんく）数	0.06	0.06				0.06							
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086							
※ 直接事業費＋人件費		4,185	3,618				2,198						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	5年間の合計		
						3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	15,500		

事務事業評価（CHECK）

自己判定（担当責任者）	事業の成果	環境教室については、環境省のこどもエコクラブ制度を活用しながら、環境問題に興味を示す児童・生徒を掘り起こし、循環型社会づくり活動費補助金の受け口となる団体の設立をねらった事業展開を行った。 また、省エネ法に係る定期報告書の作成においては、職員らで構成する委員の意見を収集して今後の取り組みに生かしている。	
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由 環境教育の推進、地球温暖化対策実行計画の進捗管理、中山地区公衆便所の管理業務等であり、個別事業として評価はできないが、必要事業であるため事業継続と判断する。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容
--------------------	----------------------

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	